

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns: 生理食塩水 Tz: 5%ブドウ糖液 Ws: 注射用水 -: 指定なし
※赤字部分: 当院採用薬名

先発製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売されていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定溶解液	生理食塩水	糖液5%	ソルデム1	ソルデム3A	ラクテック	ソルアセF	ソルラクS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイカリックRF	ドパミン (イノパン)	ドパミン	ヘパリンNa	フロセド (ランックス)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)
-	-	KCl注20mEqキット	5.0~6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Na,Tz,Wsで希釈 基本的に輸液との配合は問題ない(問い合わせ済み(試験はかなりの音のテラシカない)) ▲オメプラゾール(微黄色3hr)
-	-	ドパミン	3.0~5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	●	●	●	アルカリ性薬剤と混合× やむを得ない場合を除き他剤と混合× ▲シロキロール(色調変化24hr)、▲アピリアチン(直接白濁)、×カレン/酸ガワム(直接結晶析出)、▲セフトリアキソン(色調変化24hr)、▲イロシ(色調変化24hr)、▲ドパミン(84.8%3hr)、×セフトラジム(配合直後色調変化)、×セフトリアキソン(色調変化1hr)
-	-	ヘパリンナトリウム	5.5~8.0	-	●	●	-	● (6hrまで、 残存率データなし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	● (残存率データなし)	抗ヒスタミン剤と混合×、Tz,Ns,リン/糖液で希釈 ▲アミオダロン(3hr後濁り)、×ガベキサール(配合直後微細な浮遊物)、▲スルバシリン(24hr後9.4%)、▲トルコニア(結晶析出5hr)、×ソル・MDロール(配合直後沈殿)、×ナフモスタット(配合直後白濁)、×ニカルジピン(配合直後白濁)、×バンコマイシン(配合直後白濁)、▲ハンブ注(24hr後白濁・不溶性異物)
-	(オメプラール)	オメプラゾール	9.5~11.0	-	(色調変化 24hr) ▲	(色調変化24hr) ▲	×	×	●	(24hr後データなし) ▲	●	(緑色1hr) ▲	-	-	-	×	(6hr後データなし) ▲	-	▲	※Ns,Tz以外の溶解液、糖液、補液及び他剤との混合は避けること ×アスコルビン酸(結晶析出1hr)、▲アズチアゾラム(微黄色3hr)、×アミレシリン(79.18%1hr)、▲イノシリン/リン(微黄色24hr)、▲カレン/酸ガワム(微黄色24hr)、▲グリゼリン(84.2%24hr)、▲セフトラジム(70.9%24hr)、▲ソルコチン(微黄色結晶析出24hr)、▲ソルコチン(微黄色結晶析出24hr)、▲ドパミン(84.8%3hr)、×セフトラジム(結晶析出6hr)、×ピタマシ(紫色懸濁、54.5%0.5hr)、▲フスコピ(淡褐色微濁24hr)、▲アトニンP(微黄色沈降1hr)、×プロムヘキシジン(直接白色懸濁)、×ヒューロン(不溶物析出5hr)、×ホスホマイシン(微黄色微濁0.5hr)、▲メロプララシ(微黄色結晶析出、87.6%24hr)、▲ランックス注(微黄色24hr)
-	(ノバスタン)	アルガトロバン	5.2~7.2	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	●	-	▲ワイスタール(色調変化24hr)
-	(マキシベーム)	セフェピム	4.0~6.0	Na,Tz,Ws	●	●	●	●	●	●	●	-	(80.3%24hr) ▲	-	-	●	●	●	▲	▲アスコルビン酸(81.2%24hr)、×アミノピリン(73.1%1hr)、▲ゲンタマイシン(わずかに混濁沈殿24hr)、▲ラネキサム酸(89.5%24hr)、▲メロン静注(89.9%6hr)、×バンコマイシン(直接混濁沈殿)、▲ホスホマイシン(77.9%24hr)、×ミキサリシン(直接混濁沈殿)、×5FU(89.7%沈降)、×20%マンニトール(配合直後1hr結晶析出)
-	(ミオコール)	ニトグリセリン	5mg:4~6.5 50mg:3.5~6.0	-	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	▲メロベネム(淡黄色24hr)
-	(モダシン)	セフトラジム	5.8~7.8	Na,Tz,Ws	●	●	●	●	-	-	-	-	(87.1%24hr) ▲	-	-	-	-	-	-	▲アミノピリン静注(89.2%3hr)、×ガベキサール(直接白濁)、×カレン/酸ガワム(直接白濁)、×ジロリゾール(黄色白濁)、×ナフモスタット(直接にわずかに白濁)、×ニカルジピン(直接に微黄白色懸濁)、×バンコマイシン(直接白濁)、×プロムヘキシジン(直接白濁沈降)、×メロプララシ(安定性低下、79.7%24hr)、×ソル・MDロール注(直接にわずかに白濁)、▲フルオロワラシ(84.7%6hr)
ニフES P	アドナ	カルバノクロム	5.5~6.5	-	●	●	-	●	● (残存率データなし)	● (残存率データなし)	-	(残存率データなし) ▲	●	● (残存率データなし)	-	●	-	-	-	▲プロドネム(淡黄色24hr)
ファイザー	アネメトロ	メロニダゾール	4.5~6.0	-	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	●	●	●	▲	▲セフトアラム(色調変化6hr)	
住友ファーマ	アレピアチン	フェニトイン	約12.0	-	● (残存率データなし)	×	-	-	● (残存率データなし)	×	-	×	×	×	-	×	-	-	-	強アルカリ性のため他剤と配合×
サノフィ	アンカロン	アミオダロン	2.0~3.0	-	×	●	-	-	●	-	-	-	×	-	-	●	●	▲	▲(濁り)9hr	
ユースービー	イーケブラ	レベチラセタム	5.0~6.0	-	-	●	●	●	●	-	-	-	-	●	-	-	-	●	●	▲アレピアチン(5%糖液の場合結晶析出1hr)
MSD	エスラックス	ロクロニウム	2.8~3.2	-	●	●	●	●	●	-	-	●	-	-	-	●	●	●	×	×ソル・コチン(直接白濁)、×ソル・MDロール(直接白色浮遊物、混ぜると消失し無色透明)、×ラボナール(直接沈殿)
丸石	エラスボール	シベレスタット	6.8~7.8	Ns	●	●	●	●	●	●	×	●	(74%24hr) ▲	×	×	(87%6hr) ▲	×	●	●	×アタラックスP(直接白濁)、▲アミノピリン静注(89%6hr)、▲アミレシリン(67%24hr)▲アズチアゾラム(29%6hr)、▲オメプラゾール(色調変化6hr)、×ガベキサール(直接白濁)、▲カレン/酸ガワム(Ns,Tz,ラクテックの場合ごくわずかに結晶析出6~24hr)、▲ランジオリール(6%6hr)、▲カレン/酸ガワム(ソルデム3Aの場合結晶析出6hr)、▲キリン輸液(2%6hr)、▲酸アピリアチン(89%6hr)、×新牛シロキロール(直接にわずかに白濁)、▲ゲンタマイシン(結晶6hr)、×シプロフロキサシン(直接結晶)、×ジルチアゼム(直接白濁)、▲セフェピム(色調変化6hr)、▲セフトアラム(色調変化24hr)、▲セフトリアキソン(色調変化6hr)、▲セフトラジム(結晶析出6~24hr)、×ソル・MDロール(ソルデム3A輸液の場合直接にわずかに白濁)、▲ソルコチン(Ns,ソルデム3Aの場合ごくわずかに白濁6~24hr)、▲ダイアモックス(7%6hr)、×ナフモスタット(直接白濁)、×ニカルジピン(直接白濁)、▲ネオフアータラ(7%6hr)、×バンコマイシン(直接白濁)、▲ソル・MDロール(ソルデム3Aの場合結晶析出24hr)、×ソル(直接結晶)、▲ピタマシ(結晶6~24hr)、▲0.9%の糖液(80%24hr)、×5%ブドウ糖液(直接結晶)、×プロムヘキシジン(直接白濁)、▲ホスホマイシン(色調変化24hr)、×ミキサリシン(結晶析出6hr)、×ミキサリシン200mg(直接白濁)、×ミキサリシン(直接混濁)、×ニカルジピン(直接白濁)、▲メロプララシ(89%24hr)、▲メロベネム(色調変化6hr)、▲ユナスピリン(84%24hr)、×ラボナール(ソルデム3Aの場合直接結晶析出)、▲ラボナール(Ns,Tzの場合結晶析出6~24hr)、×ロクロニウム(直接白濁し攪拌後無色透明)
小野薬品	オノアクト	ランジオリール	5.5~6.0	Na等	●	●	-	-	●	●	●	-	● (残存率データなし)	▲	-	-	▲	●	×	▲アミノピリン(86%24hr)、▲グリゼリン(86%24hr)、▲KCl(79%4hr)、×シベレスタット(直接白濁)、▲ニカルジピン(83%24hr)、▲ノバドナリン(63%24hr)、▲ミキサリシン(78%24hr)、▲ラボナール(82%2hr)

配合変化表記
●: 配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲: 配合後色調変化(薬液の色そのものを除く)が生じる、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
×: 配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
-: データなし

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns: 生理食塩水 Tz: 5%ブドウ糖液 Ws: 注射用水 -: 指定なし
※赤字部分: 当院採用薬名

先発製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売されていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定溶解液	生理食塩水	糖液5%	ソルデム1	ソルデム3A	ラクテック	ソルアセド	ソララクトS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイガリックRF	ドバミン (イノバシ)	ドプタミン	ヘパリンNa	フロセド (ラシックス)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)				
LTLファーマ	ガスター	ファモチジン	6.2~6.8	-	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	●	●※	●	-	●	▲ (結晶析出24hr)	▲ワキスター(白色析出物6hr)、▲アミノフィリン(色調変化6hr) ※残存率データなし				
丸石	カタクロット	オザグレレ	8.8~9.8	-	●	●	-	●	-	●	●	●	●	●※	●	●	●	●	●	▲ ▲アレビアチン(ソル3、Tzで溶解時)沈殿24hr)、▲セフォチアム(ソル3、Ns、Tzで溶解時)色調変化24hr)、▲セフトリアキソン(ソル3、Ns、Tzで溶解時)色調変化24hr)、▲ニカルジピン(直後白濁)、▲バクテラシ(結晶析出3hr)、▲ワキスター(色調変化24hr) ※残存率データなし				
日薬工	カルチコール	グルコン酸カルシウム	6.0~8.2	-	●	●	●	●	●	●	●※	●※	● (500ml:2Aまで) ▲白濁6h(500ml:3A以上) ×(等量:白色10分)	●	●	●	-	●	●	×アトロピン(直後白濁)、×エフェドリン(微濁0.6hr)、×セフトリアキソン(直後白色沈殿)、×デキサメトゾン(直後白濁)、×メロリン(直後白濁) ※残存率データなし				
EAファーマ	強カネオミノファーゲンシー	ネオファーゲン	6.0~8.5	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●※	●※	-	●	●	※残存率データなし ▲アシクロビル(浮遊物24hr)、×アタラククスP(直後混濁)、×アレビアチン(直後混濁)、×カシリン/ピロリウム(混濁1hr)、×ガンタマシリン(直後混濁)、×ネオリン(直後混濁)、▲ミナソリックリン(浮遊物24hr)、×ラボナール(直後白濁)、▲ワキスター(微濁24hr)				
エーザイ	ケイツーN	メナテレノン	6.0~8.0	-	×	▲ (80.8%3hr)	×	×	×	×	●※	●※	×	×	-	▲ (色調変化3hr)	▲ (88.1%3hr)	-24時間後の測定項目記載なし(問い合わせ済)、他剤と配合せず単投与 ×アミレリン(89.9%1hr)、×アミレン(89.8%1hr)、▲塩化ナトリウム10%(83.7%3hr) ※残存率データなし						
エーザイ	サイレース	フルニトラゼパム	3.5~5.5	-	●※	●※	●※	●※	●※	-	●※	●※	●※	-	-	▲※ (混濁3hr)	-	-	-	※残存率データなし ▲アスコビル(微濁6hr)、▲アレビアチン(直後色調変化)、▲ATP注(混濁3hr)、▲大塚塩化カル注2%(混濁3hr)、×ガバネキド(直後混濁)、▲カルチコール(混濁3hr)、▲水溶性ハイロコトシ(混濁24hr)、×プロムヘキシン(結晶析出)、▲メロリン(色調変化3hr)、▲ボスミン(混濁6hr)、▲メロバミン(混濁3hr)、×塩酸ピロリウム(結晶析出)、▲ラナール(直後色調変化)、▲レベタン(混濁3hrサイレースW22倍希釈時)、▲ワキスター(混濁3hrサイレースW22倍希釈時)				
大塚製薬	サムタス	トルバプタン	7.0~9.0	Ns、Tz	●	●	-	-	●	-	-	-	●	-	-	▲ (色調変化24hrTz溶解時)	×	●	●	×アタラククスP(直後白濁)、▲セフトリアキソン(色調変化24hr)、×ハロベリール(直後白色浮遊物)、×ミルリノン(直後白色浮遊物)、▲ユナシド(色調変化24hr)、×ロコロウム(直後白色浮遊物)				
バイエル	シプロキササン	シプロフロキサシン	3.9~4.5	-	●	●	●	●	●	●	▲500ml (100ml:白色針状浮遊物24hr)	▲ (結晶析出3hrビーフリード100mL)	-	-	●	●	●	×	▲ (色調変化3hr)	×アミレリン(結晶析出1hr)、×カシリン/ピロリウム(直後白色沈殿)、×キドミン(結晶析出1hr)、▲セフォチアム(黄色沈殿24hr)、×ダルテラミン(直後白濁)、×ネオフィリン(直後結晶析出)、×フルオロラシル(直後白濁)、×ホスホマイン(直後結晶析出)、×ワキスター(直後白濁)				
ファイザー	スルベラゾン	ワキスター	約5.2	DIV補液 IV、Ws、Ns、Tz	●	●	-	●	●※	●	●※	●※	●	●※	●※	●	-	●	-	▲アスコビル(混濁24hr)、×ガバネキド(直後白濁)、▲シナザリン(混濁6hr)、×ナフアモスタット(直後沈殿)、×バソコマイシン(直後白濁)、×ファモチジン(白色析出物6hr) ※残存率データなし				
LTLファーマ	セファメジン	セファゾリン	4.5~6.5	IV、Ws、Ns、Tz IM:塩酸ピロリウム注射液	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	-	●	●	×アミンピリン(直後沈殿)、×アルブロスタジール(配合薬剤の添付文書に「本剤を輸液以外の他の薬剤と混和しないこと」と記載あり)、×イントラリス(配合薬剤の添付文書に「本剤に他の薬剤を混合しない事」と記載あり)、×ダウルシリン(直後混濁)、▲ドキルピリン(混濁2hr)、×ナフアモスタット(直後白色沈殿)、▲フルオロラシル(88.0%6hr)、×プロムヘキシン(直後白濁)、▲メロリン(色調変化3hr) ※残存率データなし				
アルフレック	セフメタゾン	セフメタゾール	4.2~6.2	DIV補液 IV、Ws、Ns、Tz	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	×	●	×アレビアチン(直後混濁)、×ソレオン(直後白濁)、▲ソルコチン(結晶析出24hr)、×プロム(直後白濁)混濁(黄色沈殿)、×ニカルジピン(直後白濁)、×プロムヘキシン(直後白濁) ※残存率データなし				
住友ファーマ	セレネース	ハロベリール	3.5~4.2	-	●	●	-	-	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●	-	-	-	▲アタラククスP(沈殿3hr) ※残存率データなし				
大鵬	ゾナン	タソピペ	4.9~6.1 (溶解液Ns,Tz100ml)	DIV補液 IV、Ws、Ns、Tz	●	●	●	●	●	●	●	●	▲ (86.4%24hr)	●	●	●	-	●	●	▲アスコビル(力価低下24hr)、▲アミレリン(力価低下3hr)、▲アミレリン(力価低下3hr)、×イントラリス(配合薬剤の添付文書に「他の薬剤を混合しないこと」と記載あり)、×獣血ゲンプロリン(直後白濁)、▲キドミン(力価低下1hr)、×ゲムシタピン(直後白色の不溶物析出)、▲セフォチアム(色調変化3hr)、▲セフトリアキソン(色調変化3hr)、▲ネオフィリン(89.9%6hr)、▲フェニバグス(色調変化24hr)、×フジソン(不溶物析出3hr)、▲フルオロラシル(力価低下3hr)、×シナザリン(白色の不溶物析出1hr)、▲メロリン(88.0%6hr)、×リネリド(添付文書に「併用投与する場合には別々に投与すること」と記載あり) ※残存率データなし				
丸石	ソセゴン	ペンタゾシン	3.5~5.5	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	×	ソセゴン30mgにおけるデータ ×デキサメトゾン(直後沈殿)、×ネオフィリン(直後白濁)、×ピクシリン(直後結晶析出)、×フェニバル(直後白濁)、×水溶性プロムヘキシン(直後白濁)、×リンデロン(直後結晶析出)、▲ワキスター(微濁3hrソセゴン15mg) ※残存率データなし				
GSK	ゾピラックス/ピクロックス	アシクロビル	10.0~11.0 (溶解液: Ns100mL)	-	●	●	●	●	●	●	●	●	● (Ws10mlかつビーフリード500mlに加入する時) ×※ (Ws10mlかつビーフリード:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物)) ▲ (Ws10ml+Tz100mlかつビーフリード:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物))	● (Ws10mlかつエルネオバ1000mlに加入する時) ×※ (Ws10mlかつエルネオバ:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物)) ▲ (Ws10ml+Tz200mlかつエルネオバ:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物))	● (Ws10mlかつエルネオバ1000mlに加入する時) ×※ (Ws10mlかつエルネオバ:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物)) ▲ (Ws10ml+Tz100mlかつエルネオバ:アシクロビルが1:1のとき(直後不要物))	-	-	-	-	-	-	-	× (直後白濁)	×アミレリン(直後結晶析出)、×ガンタマシリン(直後結晶析出)、×セフォチアム(結晶析出1hr)、▲セフトリアキソン(結晶析出24hr)、▲バソコマイシン(わずかに着色4hr、結晶析出6hr)、×ホスホマイン(結晶析出1hr)、▲ミナソリックリン(黄褐色24hr) ※残存率データなし

配合変化表記
●: 配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲: 配合後色調変化(薬液の色そのものを除く)が生じる、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
×: 配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
-: データなし

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns：生理食塩水 Tz：5%ブドウ糖液 Ws：注射用水 -：指定なし
※赤字部分：当院採用薬名

先発製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売されていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定溶解液	生理食塩水	糖液5%	ソルデム1	ソルデム3A	ラクテック	ソルアセF	ソルラクS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイガリックRF	ドバミン(イノパン)	ドブタミン	ヘパリンNa	フロセド(ラシックス)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)			
ファイザー	ソル・コーテフ 100mg	ヒドロコルチゾン コハク酸エステルNa	7.0~8.0	添付の溶解液 (Ws)	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	-	-	-	×	▲※ (結晶析出3hr)	×	×アラシリン(直接懸濁)、×アタラックス(直接析出)、▲ATP注(沈殿6hr)、▲エホチール(沈殿6hr)、×オンコピン(沈殿1hr)、×カルチコール(直接懸濁)、▲カルバソクロムスルホン酸(沈殿3hr)、▲アラニセロン(沈殿3hr)、▲アリセリン単糖配合点滴注(沈殿6hr)、▲グリシマキシ(沈殿3hr)、×シロキサン(直接懸濁)、▲セファクソン(沈殿3hr)、×セフトリアム(沈殿1hr)、×セフトリアキソン(直接沈殿)、▲タラシド(沈殿3hr)×ドキシルピシム(直接沈殿)、▲ラネキサム酸(沈殿3hr)、▲ネオアプアプ(沈殿3hr)、×ネオアピリン(沈殿1hr)、▲アロピリン(沈殿3hr)、×アロピリン(沈殿1hr)、▲シロキサン(沈殿3hr)、×シロキサン(沈殿1hr)、▲シロキサン(沈殿3hr)、×ネオアピリン(沈殿3hr)、×ミノサイクリン(直接沈殿)、▲ミノサイクリン(沈殿6hr)、▲ロベネム(88.1%24hr)、▲ユナスピル(89.0%3hr)、×リネゾリド(析出1hr)、×ワイスターール(沈殿1hr) ※残存率データなし (ソル・コーテフ：白色粉末、バイアル上下部を混和し溶解した注射液は無色又は微黄色透明)			
	ソル・コーテフ 250mg				-	-	-	●※	-	-	-	-	-	-	-	●※	-	-	-	-	-	-	※残存率データなし (ソル・コーテフ：白色粉末、バイアル上下部を混和し溶解した注射液は無色又は微黄色透明)
ファイザー	ソル・メドロール 1000mg	メチルプレドニゾン コハク酸エステルNa	7.0~8.0	添付の溶解液 (Ws)	-	-	-	-	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	-	-	-	-	-	※残存率データなし (ソル・メドロール：白色粉末、添付溶解液で溶かした注射液は無色又は微黄色透明)		
	ソル・メドロール 500mg				-	-	-	●※	-	-	-	-	-	-	-	●※	-	-	-	-	-	×キロサイド(沈殿1hr)、×ガムシタピン(直接沈殿)、▲シムプラチン(沈殿3hr) ※残存率データなし (ソル・メドロール：白色粉末、添付溶解液で溶かした注射液は無色又は微黄色透明)	
	ソル・メドロール 125mg				(89.3%24hr)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	▲(沈殿3hr)	-	×	●	×アラシリン(沈殿1hr)、×カルバソクロムスルホン酸(析出1hr)、×グラニセロン(析出1hr)、▲グリシマキシ(沈殿6hr)、▲シロキサン(沈殿3hr)、▲シロキサン(沈殿3hr)、▲シロキサン(沈殿6hr)、▲セフトリアム(沈殿6hr)、×セフトリアキソン(沈殿1hr)、▲チキド(沈殿24hr)、×ネオアピリン(析出1hr)、×アロピリン(析出1hr)、▲ハニトロン(析出1hr)、▲ハニトロン(沈殿3hr)、×シロキサン(直接沈殿)、▲アロピリン(沈殿3hr)、▲アロピリン(沈殿6hr)、▲アロピリン(沈殿6hr)、×ネオアピリン(直接沈殿)、×ミノサイクリン(直接沈殿)、▲メクロフラジド(沈殿3hr)、▲メロベネム(88.4%24hr)、▲ユナスピル(87.6%6hr)、×リネゾリド(析出1hr) ※残存率データなし (ソル・メドロール：白色粉末、添付溶解液で溶かした注射液は無色又は微黄色透明)
	ソル・メドロール 40mg				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●※	●※	●	-	-	※残存率データなし (ソル・メドロール：白色粉末、添付溶解液で溶かした注射液は無色又は微黄色透明)
ファイザー	ソルダクテン	カンレン/酸カリウム	9.0~10.0	Na,Tz,Ws	●	●	×	●	●	●	●	-	×	×	×	×	×	×	×アミレリン(直接白濁)、▲アミザリン(24h沈殿)、×ガベキサート(直接白濁・1.2%)、×10%キシロカン(直接白濁)、▲ルアラレリン(24h徐々に褐色化)、×プロムヘキシン(直接白濁・1h9.9%)、×グルタチオン(直接白濁・2.5%)、×セタマジン(直接白濁・1.0%)、×シベラリン(1h結晶析出、3h8.1%)、▲セフトリアム(3h結晶析出)、×セフトリアム(直接白濁・3h89.5%)、×セフトリアム(直接白濁・0.5%)、×ホスホマイシンg/f(直接白濁・1.7%)、×ゲンタマイシン40mg/1mL(直接白濁・5.1%)、▲ミノサイクリン(3h粒状結晶)、×アロピリン(直接白濁)、×ストレプトマイシン(直接黄白色沈殿・1.1%) ※残存率データなし				
サッフィ	タゴシット	テイコプラニン	7.2~7.8	Na,Ws	●	▲ (24h88.4%)	-	▲ (48h87.1%)	●	●	●	●	●※	▲ (24h84.8%)	●※	-	-	-	-	-	×アロピリン(直接黄白色混濁)、×献血ゲンタマイシン2500mg(直接白濁)、×ガベキサート(直接白濁)、▲セフトリアム(6hわずかに黄色み増加、48h88.8%)、▲ミノサイクリン(4hわずかな濁り) ※残存率データなし		
日本ゼネリッパ	タチオン	グルタチオン	4.0~6.0	- (Na,Tz,Wsで試験：Naで経時的な含量低下(24h後93.1%))	●	●	-	●	●	●	●	●	●※	●※	●	●	-	-	-	-	▲アスコルビド(24h88.7%)、×アロピリン(直接懸濁)、▲エホチール(3h無色澄明→黄色澄明)、×ケイソ-N特注(直接黄白色半透明→淡黄色半透明)、▲セフトリアム(6h僅かな浮遊物生成)、▲セフトリアム(24h85.7%)、▲ベンチル(24h84.9%)、▲セタマジン+Ws5mL(6h71.9%)、▲セタマジン+Ws10mL(6h84.9%)、×セフトリアム(直接白濁・64.1%)、▲ミダゾラム(24h白色結晶析出)、▲メコキシタム(24h76.6%) ※残存率データなし		
ファイザー	ダラシン	グリндаマイシン	6.0~7.0	Tz,Ws,アミン/酸製剤等の補液	●	●	●	●	●	●	●	●	●※	●※	●※	Dr.レシ>100mg/5mL(24h溶解黒色)	ドブタミン+100mg/5mL(直接白色沈殿※)	●5000単位	●	▲アミレリン(2h結晶析出)、×ガベキサート(直接白濁)、×シロキサン(直接僅かに白濁)、▲セフトリアム(24h黄色→褐色)、▲セフトリアム+Na100mL(淡褐色澄明→褐色澄明)、▲セフトリアム+Na100mL(24h淡黄色澄明→黄褐色澄明)、▲ソル・コーテフ500(24h結晶析出)、▲タラシド+Na100mL(6h84.9%)、×セフトリアム(直接白濁後澄明)、×プロムヘキシン(直接白濁)、×ミノサイクリン+Ws5mL(直接沈殿)、▲ミノサイクリン+Ws5mL(直接沈殿) ※残存率データなし			
アステラス	ダントロウム	ダントロレンナトリウム	9.0~10.5	Ws	×	×	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-混注を避け、単投投与すること ※残存率データなし			
エーザイ	タンボロール	フレカイニド	5.3~5.9	-	×	●	▲ (2h白色結晶析出、6h72.1%)	▲ (24h白色結晶析出、含量低下傾向 24h94.9%)	×	-	-	-	-	-	-	Dr.レシ>50mg/2.5mL(6h白色沈殿・66.7%)	ドブタミン+100mg/5mL	-	-	-塩化物を含有する溶液(Ns、ソルデム1、ソルデム3A、ラクテック等)及びアルカリ性溶液と配合しないこと ×アミレリン(直接白色沈・6h27.7%)、×キシロカン2% (直接白色沈殿・6h29.6%)、×シベラリン(直接白色沈殿・6h45.9%)、×ニコチン(直接白色沈殿・6h30.0%)、×ニコロール(直接浮遊物生成)、×ミルリリン(直接浮遊物生成)、×メキシチール(直接白色沈殿・6h32.2%)			

配合変化表記
●：配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲：配合後色調変化(薬液の色そのものを除く)が生じる、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
×：配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
-：データなし

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns：生理食塩水 Tz：5%ブドウ糖液 Ws：注射用水 -：指定なし
※赤塗部分：当院採用薬名

先発製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売されていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定溶解液	生理食塩水	糖液5%	ソルテム1	ソルテム3A	ラクテック	ソルアセF	ソルラクS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイガリックRF	ドバミン(イノパン)	ドバミン	ヘパリンNa	フロセド(ランックス)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)	
アストラゼネカ	ディプリバン	プロボフォール	6.0~8.5	-	●	● ●混合比1:1、1:2、1:4 ×混合比1:10(直後粒子径増大) ●同時投与	×(直後粒子径増大) ●同時投与	×(直後粒子径増大) ●同時投与	×(直後粒子径増大) ●同時投与	×b)(24h粒子径増大) ●同時投与	×(直後粒子径増大) ●同時投与	-	×(直後わずかに粒子径増大)	●a)	脂肪乳剤と混合しないこと	×(直後粒子径増大)	×(直後粒子径増大)	●	●	● ●投与前に他の薬剤(Tzを除く)と混合しないこと ▲ガキサー(24h粒子径増大)、▲カルバペロム(6h粒子径増大)、×キシロカイン2% (直後粒子径増大)、▲ソレゾロ(6h粒子径増大)、▲ダルテリン(6h粒子径増大)、▲ナ アブモスタット(24h粒子径増大)、▲コラジール(24h粒子径増大)、▲ヒダジ(24h粒子径 増大)、×エルネオバ(直後粒子径増大)、×プロコカラム(直後粒子径増大、含菌後24h) 配合割合(配合薬剤:プロボフォール):a)7.5、b)10.1、c)13、d)15.0、e)130、f)112 ※残存率データなし	
共和薬工	ドブトックス	ドバミン	3.0~4.0	-	-	● ●(ドバミン 100mg/5ml 200mg/10ml の時※)	● ●(ドバミン 100mg/5ml の時※)	● ●(ドバミン 100mg/5ml の時※)	● ●(ドバミン 100mg/5ml の時※)	● ●(ドバミン 100mg/5ml の時※)	-	-	-	(色調:PH変化ないが残存率データなし)	(ドバミン100mg/5mlの時、色調:PH変化ないが残存率データなし)	● ●(イノパン)	× Tzで希釈※(直後乳白色/白色浮遊物)	● ●(プロセド20mg)	-	● ●他の注射液と混合せずに用いることが望ましい ・pH以上のアルカリ性の注射液(▲メロゾ1H糖液)、アミノフィリン等)と混合しないこと 一部の塩(ヘパリンNa、リンゴ酢)を含む注射液と混合すると、混濁・沈殿を生じることがある ●リンゴ酢 ×ソルコート500mg(生後6hで溶解)直後白濁、24h7.6%、×ニオブ+Tz※(24h黄色透明→淡赤黄色透明)、▲メロメナム+Ns※(6h69.8%、24h白濁)、▲プロメナム+Tz※(6h61.9%、24h無色透明→淡黄色透明→白濁) ※濃度100mg/mL未満に希釈 ●当院採用のドバミン0.3%の配合変化のデータなし *ドバミン200mg/10mlのデータ	
第一三共	トランサミン	トナネキサム酸	7.0~8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	● ●(200mg/10mlの時)	-	-	● ●×アトラックスP+トナネキサム酸1g/10mL(直後混濁)、×ドクロプタン(ドクロピドール)析出の恐れ、×ピクシリン250mg+トナネキサム酸50mg/10mL(アンピシリン経時分解)、×ピクシリン250mg+トナネキサム酸250mg/5mL(アンピシリン5h以降経時的に不安定)、×プロムヘキシンナ+トナネキサム酸1g/10mL(直後混濁)、×ホリゾン(直後沈殿) ※残存率データなし	
丸石	ドルミカム	ミダゾラム	2.8~3.8	-	●	● ●(等量混合の時 は24hrで結晶析出、500mLでの混合は●)	● ●(10mLで混合の時 は24hrで結晶析出、500mLで混合時は●)	● ●(等量混合で24hr結晶析出、20mL以上で混合は●)	● ●(等量混合で24hr結晶析出、200mLでの混合は●)	● ●(20mLで混合時直後白色結晶析出、200mLでの混合は●)	● ●(20mLで混合時24hr白色結晶析出)	●	● ●(配合直後白濁・結晶析出、200mL以上は●)	× ×(1号:等量混合時直後結晶析出、8mL以上混合時●)、 (2号:等量混合時24h混濁、8mL以上の混合)●※	×(1号:等量混合時直後結晶析出、8mL以上混合時●)、 (2号:等量混合時24h混濁、8mL以上の混合)●※	● ●等量混合	●	● ●(200mg/10mlの時)	×5000単位(等量混合で直後白色沈殿) ●(8000単位以下+Ns100mLのとき)	× ×(等量混合のとき直後白色浮遊物) +Ns100mLのとき	● ●-ラボコール、URカインと配合避ける(●静注用キシロカイン2%) ×アスコルビン酸(等量混合で直後白濁)、×マダカシ(直後白濁)、×カルチール(直後白色沈殿)、×ガランゲン(50mg/WS10mL直後白濁)、▲カルレ/糖200mg(200mg+Ns20mLの時6h白色沈殿)、▲キドミ(6h白色結晶析出)、▲グルタチオン(24h結晶析出)、×ソルドスタタン(直後白濁)、×ソルコートP(100mg/100mg/NS2mの時直後白濁)、×メロメナム(直後白濁)、×ニオブ+Tz(24h黄色透明→淡赤黄色透明)、×アミノフィリン(直後白濁)、×デクスターミン(等量混合で24hrでわずかに結晶析出)トナネキサム酸(直後白濁)、×ネオオキシリン(直後白色沈殿)、×ヘパリン(直後白色沈殿)、▲ピクシリン(24h白色沈殿)、▲プロセド(20mg/100mLのとき) ▲ヘパリンCa6000単位/6mL(直後浮遊物生成)、×ヘパリン(等量混合の時直後淡黄色懸濁)、×メカファンギン75mg/NS10mL直後白濁)、×ホリゾン(等量混合時直後白濁)、×リンゴ酢2mg/5mL混合し直後し白濁結晶析出) ※残存率データなし
エーザイ	コントロール	硝酸イソソルビド	4.0~6.0	Ns、Tz(そのままで投与可能)	●*	●*	●*	●*	-	-	-	-	-	-	-	-	● ●(100mg/5mlの時)	●* ●5000単位 ●1万単位	●* ●×アケバマン2400万※(直後微粒子発生、3h青白色)、▲カンレ/酸カウム※(1hわずかに混濁、6h89%)、×メロメナム(直後白濁)、×ホリゾン※(直後混濁) *3hr後に結晶析出、☆コントロール50mgパックのデータ		
エーザイ	ネオフィリン	アミノフィリン	8.0~10.0	-	●(20mL)	▲(5%/500mLとネオフィリン24hr用時24h懸濁黄色透明)	▲(200mL:1h懸濁黄色)	▲(200mL:1h懸濁黄色)	-	-	-	-	-	-	-	イノパン:▲、6h後淡褐色、24hr後白色沈殿生成) (3hrまで変化なし、6h後淡褐色、24hr後白色沈殿生成)	● ●(併に混合しないこととの記載あり)	● ●5000単位	● ●(20mg)	● ●-pHが高く、緩衝性が強いため、配合液を本剤のpH値に近づける性質があり、アルカリ性が不安定な薬剤や酸性的な薬剤との配合で配合液成分に変化を生ずることがある ・糖液を含む薬剤との配合では黄色~褐色化する ×アスコルビン酸(直後淡黄色)、×アデピテン(直後白濁)、×大塚糖液L15(15分沈殿)、▲大塚糖液10%/20mL(24hr後黄色透明)、大塚糖液20%/20mL(24hr後黄色透明)、×500mL直後黄色透明、▲大塚糖液50%/20mL(6hr後黄色透明)×ガキサー(注射用水10mLで溶解)直後67%、▲カルチール(6h白色沈殿)、×キシロカイン2%(直後白濁)、×ニコトニン(直後混濁)、×ジチチゼ(生後5mで溶解)直後白濁、×セロピズ(注射用水10mLで溶解)117%、▲セツクシム(注射用水20mLで溶解)387.6%、×ソレゾロ(直後白濁)、▲ソルコートP(添付の注射用水2mで溶解)6h淡黄色、▲ソルドロール(添付の注射用水2mで溶解)24h黄色沈殿→ゲル化)、▲ダルル(注射用水10mLで溶解)1h結晶析出→66.6%、×ドバミン(直後混濁)、×プロメナム(注射用水50mLで溶解)透光:1h懸濁黄色)、▲メロアルブリン(24h黄褐色)、×プロムヘキシン(直後白濁)、×ピクシリン(注射用水4mで溶解)116.6%、▲シロサイク(注射用水5mで溶解)直後混濁黄色)、▲イオタール(注射用水10mで溶解)3hわずかに白濁) ここに記載しているものはネオフィリンと直接混合のデータ	
アルフレック	ノルアドレナリン	ノルアドレナリン	2.3~5.0	-	●(100mL)	●(250mLのとき24h86.5%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●(600mg/200mL)	-	● ●-アルカリ、酸化剤、金属イオン避ける ×アミノフィリン、アトラン、スルホチオマイシン、ラボコールなどと混合すると白濁する ×ソルコート(直後針状結晶析出)、×ソルコート200mg+Tz500mL(15分針状結晶析出)、▲ソルメドロール(24hわずかに淡黄色)、×フェノバリン(直後白濁) ※残存率データなし ここに記載の結晶、注射薬以外の配合試験データはない問い合わせ済み	
日医工	ハイドロコト	ヒドロコトニン酸エステルNa	7.5~8.5	-	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●(600mg/200mL)	-	● ●×キシロカイン2%*☆直後無色透明→淡黄色透明)、×マーカイン注(*直後白濁※) *糖液10%(☆直後淡黄色) *1容器対1容器のとき、☆等量対等量のとき ここに記載している以外の配合試験データなし、色調変化のデータない問い合わせ済み	
正製薬/田辺三	バルクス/リブル	アルプロスタジル	4.5~6.0	-	●	●	●	●	●	●	●	-	▲(24h79.5%)	▲(24h77.0%)	●	● ●ドバミン100mg/5mL+ラクテック(24h灰色・凝塊・ゲル化)75.7%)	-	●	●	● ●輸液以外の他の薬剤と混用しないこと 持続投与の場合は最初1号で ▲アスコルビン酸+Ws10mL+ラクテック(6h87.0%)、▲アミノバシ(6h86.9%)、▲アミノバシ(6h82.4%)、▲イオバドール370注(24h5%)、▲オムニバシ350注240mL(24h4%)、▲カルバペロム(6h83.0%)、▲キドミ(6h71.1%)、▲セフォラム+Ns10mL+ラクテック(24h黄色透明)、×セルトシ(100mg+ラクテック)直後混濁、▲ネオアブモスタット(24h86.5%)、▲プロスコア370注20mL(3h分凝)、×プロスタミン+ラクテック(直後凝塊)、▲リンデロン4mg+ラクテック(3h80.1%)	

配合変化表記
●：配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲：配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲：配合後色調変化(薬剤の色そのものを除く)が生じ、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
×：配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
-：データなし

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns：生理食塩水 Tz：5%ブドウ糖液 Ws：注射用水 -：指定なし
※赤塗部分：当院採用薬名

先発 製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売され ていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定 溶解液	生理 食塩水	糖液5%	ソルデム1	ソルデム 3A	ラクテック	ソルアセF	ソララクS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイガリックRF	ドバメン (イノバシ)	ドバタミン	ヘパリンNa	フロセド (ランシッド)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)
Meiji Seika	バンコマイシン	バンコマイシン	2.5~4.5	Ns,Tz,Ws	●	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	●※	-	ドバタミン100mg /5mL	5000単位(直後 白色懸濁)	●	▲アシクロビル(3h白色沈殿) × アミノフィリン(直後白濁、3h47.9%) × アムピシリン(直後 黄色懸濁) × フロセド静注用60mg単位(直後白濁) ▲アイトール静注(24h黄色懸濁→ 淡黄色澄明) × セファゾリン(直後白色懸濁) ▲セフトリアキソン(3h黄色懸濁) ▲セフトラ ゾール(24h黄色澄明→こぶす状白色濁り) × ソルコチン(直後白色懸濁) ▲フニ イロカシ(3h黄色澄明→こぶす状白色濁り) × フロセド静注用(直後白色澄明→白色沈 6h77.5%) × ミカファンギン(直後白色懸濁) ▲メロニド(24h黄色澄明→極微赤色澄明)。 ▲メロベム(24h83.6%) ※残存率データなし
武田	ハンスポリン	セフトアチム	5.7~7.2	Ws-Tz-Ns	▲ (24h79.9%)	▲ (24h78.7%)	▲ (24h77.4%)	▲ (24h80.3%)	▲ (24h80.4%)	▲ (24h後微黄色澄 明、78.5%)	▲ (6h黄色澄 明)	▲ (6h後微黄色澄 明、残存率データなし)	▲ (24h黄色澄 明)	●	●※	(24h83.7%)	-	-	▲ (24h黄色澄 明 78.5%)	▲アタラックスP(24h82.1%) ▲アミノフィリン(24h淡黄色澄明82.3%) ▲アミレレン(24h83.2%) ▲大塚塩化カルシウム(24h82.2%) ▲カネキナーゼ(24h淡黄色濁り92.1%) ▲カルバマゾール(24h 82.3%) ▲メチルメタキシリン(24h84.4%) ▲メロニド(24h83.6%) ▲セフトラゾール(24h黄 色澄明79.4%) ▲ネオファージン(24h84.4%) ▲塩化ペリコシリン(24h80.7%) ▲フロヘキ シリン(黄色澄明78.5%) ▲メロベム(24h80.7%) ▲ワイスタール(24h淡黄色澄明79.9%) ※残存率データなし
第一三共	ハンプ	カルベリチド	4.5~6.5	Ws	●	●	(6hでこくわずか に異物あり)	●	●	●	●	●※	× (直後14.9%)	-	-	× (直後73%)	▲ (直後85%)	▲ (24h白沈)※ ×ヘパリン※ 直後白色濁り	× (直後白色濁り)	×アミオダロン(直後81.2%) × アスコルビン酸(直後75.8%) × アミレレン(直後13.9%) × アミレレン(直後5.2%) ▲アルブスタルアルブアラック(24h88.7%) × インデラール(直後 83.3%) × オゾア(直後2.1%) × カルシウム(直後85.4%) ▲メソリン(24h 88.1%) × シェルスタット(直後85.5%) × セフトアチム(直後89%) × セフトラゾール(直後89%) ▲セフトリアキソン(1h82.2%) × ソルコチン(直後89.9%) × ソルコチン(直後73.1%) ▲ダイ アピラス(6h85.5%) × アミレレン(24h濁り) × アミオダロン(直後89.9%) ▲アルブスタル (1h88.5%) ▲ピラジナール(24h89.4%) × フロセド(直後83.4%) × ポスミン(直後79.0%) × メ ロベム(直後88.7%) × ワイスタール(直後白濁) ※残存率データなし
Meiji Seika	ピクシリン	アンピシリンNa	8.0~10	Ws-Tz-Ns	●	▲ (6h74%)	▲ (6h85.1%)	▲ (3h87.2%)	▲ (24h88.4%)	▲ (24h89.5)	●※	●※	▲ (3h85%)	●※	●※	-	-	●	●	▲アミレレン(1h87.6%) ▲ゲンタマイシン(24h85.4%) ▲ペリコシリン(24h88.1%) ▲ロ セリン(24h87.5%) ※残存率データなし
サファイ	ピソルボン	フロムヘキシシ	2.2~3.2	-	●※	●※	-	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	●※	× (直後白色不溶物)	-	× (直後白濁)	×アミノフィリン(白濁) × ギャルソロイチン(直後白濁) × セファゾリン(わずかに白濁) × セフト ゾール(直後白濁) × トラネキサム酸(白濁) × ネオファージン(白濁) × メロベム(白濁) × ワイスタール(白濁) × フロセド(白濁) × フロセド(白濁) × フロセド(白濁) × フロセド(白濁) 時間データなし
アルフレックP	ピタメジン	-	4.5	Ws-Tz-Ns	●	●	▲ (24h85.2%)	▲ (24h82.7%)	▲ (24h85.1%)	▲ (24h79.2)	▲ (24h84.6%)	● (残存率データなし)	-	●	●	▲ (6h89.8%)	-	-	-	-室温遮光でのデータ ▲ネオファージン(6h86.5)
第一三共	ピムバット	ラコサミド	3.8~5.0	Ns-Tz	●	●	-	-	-	-	●	-	-	●※	-	-	-	●	●	※残存率データなし × アレピアチン(直後沈殿)
アステラス	ファンガード	ミカファンギン	筋注→4.5~5.0 静注→3.5~7.0	Ns-Tz	●	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	●	▲ (24h76.4%)	×(配合直後に濁り あり)
塩野義	フィニバックス	ドリンベム	4.5~6.0	Ns	▲ (微黄色+24 hrで87.7)	●	●	▲ (24hr88.3)	-	-	▲ (24hr79.4%)	-	-	-	-	▲ (24hrで微黄色)	▲ (24hrで87.7)	▲ (24hrで微黄色澄 明)	●	▲ソセゴン(24hr88.8%) ▲ブスコブ(24hr微黄色) ▲ジジシ(24hr黄色澄明) × ネオフィリン(1hr89.5%) ▲タチオン(24hr88.5%+微黄色) ▲フサン(24hr82.0%+微 黄色) ▲メロニド(24hr微黄色) ▲メロニド(24hr72.1%+微黄色) ▲ペリコシリン(24hr 82.9%+微黄色) ▲セフトラゾール(24hr83.2%+微黄色) × ソルコチン(直後微黄色+24h +83.1%) × ミカファンギン(直後微黄色+4hrで89.7%) ▲ユナシリンS(4hr87.6%)
日医工	フェジン	含糖酸化鉄	9.0~10.0	-	× (コイロ生成 する)	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※他剤と配合データなし、試験未実施 ※NaClの電解質で溶解するpHの範囲のみ、pHが不安定な場合イオンが生成 することもある。
日医工	フサン	ナファモスタット	3.5~4.0	Tz-Ws	●	●	●	●	●	●	●	▲ (3h後白濁)	× (1hrで82.6%)	-	-	-	-	●	●	▲アミレレン(3hr37.9%) ▲ネオフィリン(3hr1.1%) × ソルダダリン-ソルメロール(直後 白濁) ▲ソルコチン(24hr71.9%) ▲タチオン(24hr78.6%) × ソルコチン(6hr85.4%+ 緑褐色に黄色増色) ▲セフトラゾール(8h85.5%) × カルシウム(直後白色析出物) × ミ ライグリン(直後淡黄色析出物) × メロベム(90%未溶)
日医工	プリンペラン	メトクロプラミド	4.5~5.5	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	× (直後に白色沈殿)	※アルカリ性注射液と混合 × ▲ロピオン(24hrで表面に黄色のクリーム) ▲セネレス(3hr結晶析出) × ヒューマリンR (3hr白濁)
ファイザー	プレセデックス	デクスメタドミン	4.5~7.0	Ns	●	●	●	●	●	●	-	-	●	-	-	●	●	●	●	×アムピシリン-ジアセム(沈殿) × ニコランジル(pH変化) × シェルスタット(含量低下)
塩野義	ブレドニン	ブレドニゾロンハク酸 エステルNa	6.5~7.2	Ns-Ws	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	×メロベム(直後白濁) × キシロカン(1hr後濁)
丸石	プロスタント	アルプロスタジル アルファデクス	注射:4.0~6.0 点 滴静注:3.5~5.5	Ns	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	▲ (24hr89%)	×アレピアチン注(30分~1時間以内に結晶析出) ▲アミカシン(24hr86%) ▲イダミシ リン(24hr88%) ▲セフトラゾール(直後に微黄色) ▲メロニド(24hr78%) ▲メロベム(開 始時微黄色) ▲アルブミン(4hr83%) ▲アミレレン(4hr79%) ▲ネオフィリン(4hr 86%)
持田	プロタミン	プロタミン	5.0~7.0	Ns-Tz	●	-	-	-	-	-	-	-	-	▲ (6h黄色懸濁)	-	-	-	-	-	※残存率データなし、他剤との配合変化情報なし
アドサイエン	ベクルリー	レムデシビル	3.0~4.0	Ws	● (残存率デー タなし)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※残存率データなし(糖液5%については、24h48hとも安定性あり、残存率は不明)
Meiji Seika	ベニシリンG	ベンジルベニシリン カリウム	5.0~7.5	筋注:Na-Ws静注: Ns-Tz	●(5℃) ▲(25℃ 9h 以内に使用)	●(5℃) ▲(25℃ 9h以 内に使用)	●(5℃) ▲(25℃ 9h以 内に使用)	-	-	-	-	-	-	● (1h時点のデータなし)	-	-	-	-	▲ (25℃の時 24h58%)	▲アシクロビル(3h82%) ▲ケイツイン注(24h42%) ▲ゲンタマイシン(24h88.4%) ▲ナフ モスタット(10mgの時24h63%) ▲ネオファージン注(24h 白濁) ▲ピタメジン(6h 89.9%)

配合変化表記
●：配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
▲：配合後色調変化(薬液の色そのものを除く)が生じる、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
×：配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
-：データなし

注射剤配合変化一覧

※指定溶解液 Ns：生理食塩水 Tz：5%ブドウ糖液 Ws：注射用水 -：指定なし
※赤字部分：当院採用薬名

先発製薬会社	先発薬品名 ※(現在販売されていない)	後発薬品名 もしくは一般名	規格pH	指定溶解液	生理食塩水	糖液5%	ソルデム1	ソルデム3A	ラクテック	ソルアセド	ソララクトS	フィジオ140	ビーフリード	エルネオバ	ハイガリックRF	ドパミン (イノパン)	ドパミン	ヘパリンNa	フロセド (ランックス)	備考(他、当院採用薬で配合不可、配合注意に該当するもの)	
LTLファーマ	ベルジピン	ニカルジピン	3~4.5	-	●	●	(壁面に少量の黄色物)	(直後少量の黄色物)	×	×	×	×	●	(1号 3h 85.9%)	●	-	-	×	×	×アミノフィリン(直後白濁)、×アスコルビン酸(直後白濁)、×アミルバシ(混濁)、×アミレリン(直後白色懸濁)×イオキシール(直後白濁)、オムニバー(直後微黄色澄明)、×カルバゾプロピルシロリン酸Na(直後赤濁)、×クレシ(後方オムニバー(直後白濁)、×キネロンイオン(後方イオン(直後白濁)、×キドミン(直後白濁)、×グルタチオン注、×セフォチアム(直後白濁)、×セフメタル注、×トラネキサム酸(直後白濁)、×ノスホマイシンNa(直後白濁)、×マンニトールS注(沈殿)(時間不明)、×メイロン静注(直後白濁)	
Meiji Seika	ホスミシン	ホスホマイシン	6.5~8.5	Tz,Ws(静脈内)	●	●	-	●	●	(残存データなし)	●	-	-	-	-	-	-	-	×	×アタラクSP(直後混濁)、×コントミン筋注(直後混濁)、×セフオザジム(直後白色澄明)、×アミノカプセル注(直後白色沈殿)、×プロムヘキシリン塩酸塩注(直後白色沈殿)、×ミノマイシン(直後沈殿)	
第一三共	ボスミン	アドレナリン	2.3~5.0	-	●	●	-	-	●(1A/1袋)	●(1A/1袋)	-	●(1A/1袋)	●(1A/1袋)	-	-	-	-	●	-	-	×ATP注(直後赤色)、×メイロン(2h以内沈殿赤色)、▲デキサート(3h微黄色)
丸石	ホリゾン	ジアゼパム	6.0~7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調整時他の注射剤と混合又は希釈して使用しないこと。(割合から注入すると白濁り、血管痛を伴う)ジアゼパムは水とよく混ぜないため、製剤には有機溶媒が使用されており、他剤との配合により希釈されると沈殿が生ずる。
ファイザー	ミノマイシン	ミノサイクリン	2.0~3.5	Wsは不可	●	●	-	●	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	×	×ATP(黄色濁)、▲アミノフィリン(89.0%24h)、×水溶性ブレドニン(微混濁)、×ソル・コーテプ(直後赤濁)、▲デキサート(24h黄褐色)、▲トラネキサム酸(24h黄褐色)、×ネオプラーゲン注(混濁)、▲ピタマン(24h赤褐色)、×ホスミン(直後白濁)、×メイロン注(黄色濁)	
日医工	ミルリーラ	ミルリノン	3.4~4.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	他の注射剤と混合せずに用いることが望ましい。ミルリノンの溶解度はpHによって異なることから、pH依存の外観変化を予測するにはpH-溶解度プロファイル(表解注射剤の配合変化改訂10版P62)を利用することが望ましい。×アミノカプセル注(直後白濁)、▲セフォチアム(6時間以内使用すること)、×ソル・コーテプ500mg(24h微濁浮遊物)、×タリドピペラジリン(×)、▲デキサート(7.1%6h)、×ネオプラーゲン注(含量低下)(微濁 24h)、×ホリゾン(直後白濁)、×メイロン注(含量低下)、×ラボナー(直後白濁)
大塚製薬	メイロン	炭酸水素ナトリウム	7.0~8.5	-	-	-	-	-	(白色混濁 24h6hまで無色澄明)	(白色混濁 24h6hまで無色澄明)	(白色混濁 24h6hまで無色澄明)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×アタラクSP(直後混濁)、×コントミン筋注(沈殿)(時間不明)
住友ファーマ	メロベン	メロベネム	6.7~8.7	Ns	▲(81.5%24h)	▲(65.7%24h)	▲(89.7%6h)	▲(86.5%6h)	▲(75.3%24h)	-	×	▲(78%24h)	▲(88.7%3h)	-	-	▲(82.6%3h)	▲(84.6%6h)	▲(85.8%24h)	▲(86%24h)	-	×アミルバシ(力価低下)、×アミレリン注(力価低下)、×キドミン注(力価低下)、×プロムヘキシリン注(白濁)、×10NTZ(力価低下)、▲アジチロル点凍静注(85.0%3h)、▲アミノフィリン注(79.8%3h)▲イソトラリス輸液20%(80.5%24h)、▲グルタチオン注(81.3%3h)、▲ゲンシリン(82.8%24h)、×ソル・コーテプ注(直後白色沈殿)、▲ニコール注5mg(87.3%24h)、▲バノマシリン(82.4%24h)、▲マンニトールS注(83.1%6h)、▲メイロン静注8.4%(88.5%6h)、▲ユナシンS静注用(82.8%24h)、▲ロセファン(88.4%24h)
ファイザー	ユナシンS	ユナスピン	8.0~10.0	Ns-Tz-Ws	●	▲(86.6%6h)	-	▲(73.6%24h)	●	-	-	▲(87.8%3h)	-	-	-	▲(86.5%6h)	-	-	●	×	×アタラクSP(白濁)(時間不明)、▲アミレリン(76.1%3h)、▲キドミン(76.5%3h)、▲ピタマン(89.2%24h)、▲フェジン(77.6%24h)※6hまでのデータのみ
田辺三菱	ラジカット	エダラボン	3.0~4.5	-	●	●	●	▲(84.6%6h)	●	●	●	-	×	×	-	●	-	-	×	×	×アプレチン注(配合直後白濁)、×カンレノ酸(配合直後白濁)、▲セフォチアム(88.3%6h)、▲セフメタル注(87.6%24h)、×フェニバル注(白色結晶析出)、×ホリゾン注(白濁)(時間不明)、▲ユナシンS静注用(87.2%3h)、×ラボナー注(直後白色結晶析出)
日医工	ラシックス	フロセド	8.6~9.6	-	●	●	-	●	●	-	-	-	●	-	-	●	-	-	●	×	×アクラシン注射用(混濁)、×ケタラール静注用(混濁)、×サリス静注(混濁)、×ダカルバシン注用(混濁)、×バノマシリン注(混濁)、×ミノマイシン(混濁)(時間不明)酸性注射剤と混合し混濁沈殿
ニボES P	ラボナー	チオペンタール	10.2~11.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原則として単独投与、弱酸性の輸液等との配合により析出
旭化成P	リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ	6.8~7.3	Ns-Tz	●	●	▲	Tzで溶解した場合(89.1%6h)	×	Tzで溶解した場合(86.3%1h)	●	●	-	×	▲(87.8%1h)	×	×	×	▲	×	×キドミン(77.0%1h)、▲メルアルナリル(89.6%24h)、▲ヘパリン注射用(86.5%6h)、▲フィニバックス(微黄色澄明55.7%24h)、▲ミノマイシン(89.4%24h)
大塚製薬	レベタン	プロピルノフィン	3.5~5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原則として他剤との混合注射は避けること。
太陽P	ロセフィン	セフトリアキソン	6.0~8.0	Ns-Tz-Ws	●	●	●	●	結晶沈殿	結晶沈殿	結晶沈殿	結晶沈殿	結晶沈殿	結晶沈殿	結晶沈殿	●	×	-	●	●	Caイオンを含有する注射剤又は輸液との配合により混濁
科研	ロピオン	フルルビプロフェン アキセチル	4.5~6.5	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	×	●	×	×ガンタマシリン(クリームシロ3h)、×バノマシリン(直後沈殿クリームシロ)、▲フィニバックス(クリームシロ6h)、×ホリゾン(直後二層分離)、×メトクロプラミド(クリームシロ7h)、×ロピオン(色調変化1h)
エーザイ	ワソラン	ベラパミル	4.5~6.5	-	●	●	-	●	-	●	●	-	●	●	-	●	-	-	●	×	×水溶性ハイドロコト注(直後白濁その後すぐ微黄色澄明)、×ソル・コーテプ静注(直後白濁その後すぐ微黄色澄明)、×ノスホマイシンNa(直後白濁その後すぐ微黄色澄明)※残存データなし

配合変化表記
 ●：配合24時間後に残存率90%以上で外観変化がないもの。
 ▲：配合後色調変化(薬液の色そのものを除く)が生じる、又は配合1時間以上経過し残存率90%以下になる、又は配合1時間以上経過し色調変化以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの。
 ×：配合1時間以内に残存率90%以下になる、又は配合1時間以内に色調以外の外観変化(混濁・沈殿・結晶析出・ゲル化等)が生じるもの
 -：データなし